

「話すこと」／「書くこと」

		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年
「話すこと」	Can-do (学習到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> 英語で簡単な挨拶をしたり、先生をまねて簡単な言葉を言ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> (や) 基本的な挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、応じたりすることができる。 (や) 身近なことについて、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (や) サポートを受けて、身近な事柄について質問をしたり答えたりすることができる。 (発) 自分のことや身近なことについて、実物などを見せながら簡単な語句や表現を用いて伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> (や) 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり応じたりできる。 (や) 日常生活に関する事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (や) 身近な事柄について、その場で簡単な質問をしたり答えたりし、伝え合うことができる。 (発) 身近な事柄について、内容を整理して、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
	Will-do (行動目標)	<ul style="list-style-type: none"> はっきり聞こえる声で話すなど、楽しみながら友達や教師に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> (や) 仲間の良さや自分の良さに気付くなど、進んで仲間と関わろうとしている。 (や) 困っている友達をサポートしたり、他の人からのサポートに感謝したりしながら、仲間とよりよく関わろうとしている。 (や) (発) 聞き取りやすい声で言ったり動作を加えて話したりしながら、相手に伝わりやすいように工夫している。 (や) (発) 相手の話に返事をしたりうなずいたりするなど、反応を返して相手の考えや気持ちを聞こうとしている。 (発) 相手に伝わるように、事実とそれを示す実物やイラスト、写真などを関連付けて話している。 	<ul style="list-style-type: none"> (や) 既習事項を用いるなど、音声で十分慣れ親しんでいる表現を使ってやり取りをしようとしている。 (や) 繰り返し応答・質問するなど、進んで相手と関わろうとしている。 (発) 伝える内容の順番を考えて発表したり、相手の理解を確かめながら話したりするなど、よりよく伝わるように工夫している。
「書くこと」	Can-do (学習到達目標)			<ul style="list-style-type: none"> 大文字、小文字を活字体で書いたり、簡単な語句や表現を書き写したりできる。 身近な事柄について、十分に慣れ親しんだ例文を参考に簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
	Will-do (行動目標)			<ul style="list-style-type: none"> メッセージカードなど、伝える相手を明確にして書き、自分の思いを伝えようとしている。

※詳細については、新かけがわスタンダード 小中一貫 Can-do リスト (初版、第2版)、小学校外国語教科書対応カリキュラム (別冊) 参照

中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年
<ul style="list-style-type: none"> ・(や) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 ・(や) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ・(や) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。 ・(発) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 ・(発) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 ・(発) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。 		
<p>・(や・発) 自分の知っている語彙や表現を駆使して、自分の思いや考えを伝えようとしている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・(や) 分からないことは質問したり相手の言ったことを繰り返したりしながら、相手のことを理解しようとしている。 ・(や) 相手の質問に適切に答えようとしている。また、質問に対する答えだけでなく、それに関連する内容について情報を付け加えようとしている。 ・(発) 必要があれば絵や写真などの具体物を用いて、よりわかりやすく伝えようとしている。 ・(発) 事実や出来事に加え、自分の気持ちや感想などを伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(や) 質問に対する答えだけでなく、それに関連する内容についてさらに詳しい情報を付け加えようとしている。 ・(や・発) 相手の真意が分からない時は”What do you mean?”などと質問をして、より深く相手のことを理解しようとしている。 ・(や・発) 聞き手が知らない語句は、既習語で言い換えたり名詞や形容詞などで説明したりして、自分の思いや考えをよりわかりやすく伝えようとしている。 ・(発) 簡単なメモを基に、関心のある事柄について話している。 ・(発) 図表やグラフなどを用いて、事実や根拠を明確にしながらよりわかりやすく伝えようとしている。 ・(発) 調査結果から得た事実や、それについての考察を伝えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(や) 相手からの発話に反応したり、問いかけに応答したりするなど、進んでやりとりをしようとしている。 ・(や) 相手に問いかけたり、返事を求めたりするなど、より相手の考えを理解しようとしている。 ・(発) 聞き手が知らない語句は、既習語で言い換えるなどして、互いの思いや考えをよりわかりやすく伝え合おうとしている。 ・(発) 伝える内容について、キーワードやウェビングマップを参考にしながら、よりわかりやすく伝えようとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ・社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができる。 		
<p>・手本となる文章から表現を活用したり入れ替えたりしながら、進んで書き表そうとしている。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・紹介する文章の内容を精選するなど、内容的につながりのある文章を書こうとしている。 ・事実・出来事について自分の気持ちや感想を付け加えるなど、読み手により伝わるように書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な情報はさらに詳しく説明するなど、内容的につながりのある文章を書こうとしている。 ・調べた結果やデータを根拠として感想や考察を書くなど、読み手により伝わるように書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書いた文章を再考したり他者のアドバイスを参考にしたりしながら、読み手が理解しやすくなるように書き直している。 ・自分なりの感想や意見を明確にするなど、説得力をもたせるような文章を書こうとしている。

※詳細については、新かけがわスタンダード 小中一貫 Can-do リスト (初版、第2版)、小学校外国語教科書対応カリキュラム (別冊) 参照